



かごしまの地域を元気に! /

共生・協働の地域社会づくり

森林ボランティア「森林の見張隊」

森林のパトロールは 私たちにまかせて!



森林組合と各地域振興局・支庁における協定締結

きれいに手入れされた森の中を「森林の見張隊パトロール中」と書かれたステッカーの付いた軽トラックがゆっくりと走っている。

森林パトロールをしているのは、かごしま森林組合の田島洋平さんと山崎健司さん。

2人は、日頃から、いちき串木野市を中心に、森林の違法伐採や崖崩れ、森林病虫害の発生などがなければ、見回りを行っている。

「森林の見張隊」は、地元森林を守り、住民の生活環境を保全するため、平成20年度に県内各地の森林組合と各地域振興局・支庁の協定により結成された団体。森林組合の職員を「森林の見張隊」として位置づけ、これまで森林保全巡視指導員に委嘱されていた森林の伐採や開発行為、火災、災害などの森林パトロールを行っている。

現在、県下17森林組合の約9000人が、各地域で活動している。

田島さんは、「パトロール中は、不審な森林伐採の現場を見つけると、市役所へも連絡を入れ、伐採届けの確認を行います。また、ゴミの不法投棄を見つけたら、現場の状況をすぐに通報します」と行政との連携を心がけて活動している。

最近では、イヌマキの葉を喰う害虫の発

生が多く、所有者から防除についての相談を受けたり、薬剤散布による防除作業を依頼されるなど、地域の方からの信頼も厚い。

「森林の見張隊」の活動は、従来の限られた人数での森林保全巡視指導員制度と比べて、県内全域で森林パトロールが行われることによって、災害の未然防止、不法投棄の早期発見などにつながっており、森林の保全に大きな成果を上げている。

県では、今後も、研修や情報連絡体制の整備などを通じて森林の見張隊をさらにバックアップし、森林保全活動の充実を図ることとしている。



軽トラックによるパトロール

2人からひとこと

間伐してきれいになった山にゴミが捨てられているのを見ると本当に残念。これからも、空気や水を育む地域の森林をみんなで協力して守っていきたいと思います。



かごしま森林組合の田島洋平さん(右)と山崎健司さん



伐採箇所の確認

共生・協働の地域社会づくりやNPO法人に関するお問い合わせ先

- ◎共生・協働推進課(県庁9階) ☎099-286-2241
 - ◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) ☎099-221-6613
- 関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。